

大地震等が発生した場合の対応

< 緊急時の電話番号 職員室：22-4017 >

令和3年度 由利本荘市立小友小学校

震 度	震 度 4	震 度 5 弱 ・ 強	震 度 6 以上
体感・行動	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が驚く。 眠っている人の大半が目を覚ます。 	弱：大半の人が恐怖を覚え、物につかまろうとする。 強：物につかまらなると歩くことが難しい。	弱：立っていることが困難になる。 強：震度7：歩行が困難になり、這わないと動けない。
屋内の状況	<ul style="list-style-type: none"> 電灯が大きく揺れる。 棚にある食器類が音を立てる。 	弱：電灯が激しく揺れ、食器類が落ちることがある。 強：食器類や本が多く落ちる。	弱：固定していない家具の大半が移動する。 強：震度7：固定していない家具が移動または倒れる。
屋外の状況	<ul style="list-style-type: none"> 電線が大きく揺れる。 車を運転していて揺れに気付く人がいる。 	弱：電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が出る。 強：窓ガラスが割れ、車の運転が困難になる。	弱：壁のタイル、窓ガラスが割れ、落下することがある。 強：震度7：ブロック塀が崩れることがある。
登 校 前 ・前日深夜 ・当日早朝	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安全を確認する。(停電の可能性あり) 臨時休校する場合で、緊急メールが使用できない時は、次のようお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安全を確認する。(停電の可能性大) 臨時休校する場合で、緊急メールが使用できない時は、次のようお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安全を確保する。(停電の可能性大) 臨時休校とし、保護者の指示に従う。 町内によっては、安全な場所へ避難する場合もある。
<p>☆地震の震度に関係なく、午前6時の時点で地域全体が停電の場合は、自宅待機とします。午前8時まで停電が復旧しない場合は、臨時休校とします。 ☆メール配信が可能な場合は、午前6時～7時に連絡します。 ☆安全を最優先し、保護者の判断で児童を自宅待機または避難させてください。(行政機関等から避難指示が出される場合もあります)</p>			
登 校 中	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所にすぐ避難する。 <ul style="list-style-type: none"> 歩行中は、ブロック塀などの倒れそうなものから離れた場所にしゃがむ。(車、土砂崩れにも注意) 揺れがおさまったら、 <ul style="list-style-type: none"> 学校に近い場合は、学校に向かう。 自宅に近い場合は、自宅に戻る。→ 帰宅し電話が使用できる場合は、学校に電話し、所在を伝える。 		
在 校 時	<ul style="list-style-type: none"> 授業中 <ul style="list-style-type: none"> 机の下に避難→一次(二次)避難→安全確認、情報収集→授業再開(または下校) 休み時間中 <ul style="list-style-type: none"> ガラスから離れ、物が倒れてこない場所、落ちてこない場所に頭部を保護してしゃがむ。→放送で、または職員が指示→一次(二次)避難→以下授業中と同じ 給食時間中 <ul style="list-style-type: none"> 食缶のふたを閉め、床に置く。テーブルの下に避難→職員が指示→一次(二次)避難→以下授業中と同じ 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中 <ul style="list-style-type: none"> 机の下に避難→一次(二次)避難→校内外の安全確認、情報収集→授業再開の可否判断 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中 <ul style="list-style-type: none"> 机の下に避難→一次(二次)避難→校内外の安全確認、情報収集→緊急避難体制もある
下校体制	<ul style="list-style-type: none"> 迎えに来た保護者に引き渡す。 安全を確認後下校させる。職員が各所で安全確認安全指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 強い余震が予想されるため、原則として、学校に待機させ、保護者へ引き渡す。 <ul style="list-style-type: none"> できる限り保護者への連絡を取りますが、保護者の方の安全を優先してください。 学校が避難所になった場合や自宅が危険な場合などには、そのまま学校に待機(避難)することもある。 	
下 校 中	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所にすぐ避難する。 <ul style="list-style-type: none"> 歩行中は、ブロック塀などの倒れそうなものから離れた場所にしゃがむ。(車、土砂崩れにも注意) 揺れがおさまったら、 <ul style="list-style-type: none"> 学校に近い場合は、学校に戻る。(揺れが小さい場合は自宅へ向かう) 自宅に近い場合は、自宅に向かう。 		

**「落ちてこない」場所に避難
「倒れてこない」場所に避難**

**「落ちてこない」場所に避難
「倒れてこない」場所に避難**